



お話の学習指導案



教育目標

題名

- ・ かんこう (ハンガン) にふなばしをかけたてい じゃくよう (チョン・ヤギョン)

年齢

- ・ 児童(6~9歳)

主題

- ・ 目標: ハンガンにふなばしをかけたてい じゃくよう (チョン・ヤギョン) のちえをすることができる。
- ・ 主題: ちえ

キーワード

- ・ ちえ, こう (考), てい じゃくよう (チョン・ヤギョン), かがくしゃ, せいそ (チョンジョ), ハンガン, ふなばし#すいげんかじょう (スウォンファソン), 園幸乙卯整理儀軌

韓国文化

- ・ 目標: かんこう (ハンガン) にはし (橋) をかけさせたせいそ (チョンジョ) のおやごころにきょうみをもつ。
- ・ 要素: かんこう (ハンガン) のはし (橋)、こう - せいそ (チョンジョ) のおやごころ

韓国語

- ・ 目標: ふなばしのように2つのたんごをあわせて、一つのたんごになったことばをしらべる。
- ・ 単語: 배다리 (ふなばし)、논밭 (田畑)、책가방 (本カバン)、꽃나무 (花木 (かぼく))
- ・ 表現:
배다리를 건너다. (ふなばしをわたる。)
꽃나무를 심고 가꾸다. (花木 (かぼく) をうえて、そだてる。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！
“かんこう（ハンガン）にふなばしをかけたてい じゃくよう（チョン・ヤギョン）”
です。

かんこくのしゅと（首都）であるソウルには大きな川がながれています。‘ハンガン’という川ですね。いまはハンガンにはし（橋）がいくつもかかっています。むかしはぎじゅつがはったつしていなくて、ハンガンにはし（橋）をかけられませんでした。そのため、ハンガンをわたるたびにふねにのっていったそうです。せいそ（チョンジョ）のときに、てい じゃくよう（チョン・ヤギョン）がハンガンのはし（橋）をつくったといいます。ふなばしをどうやってつくったのか、お話をきいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“かんこう（ハンガン）にふなばしをかけたてい じゃくよう（チョン・ヤギョン）”
のお話の中へしゅっぱつ！

♪ いちにいさんし！ お話のはじまり！ わたしたちみんながたのしく、よくきいてみましょう。みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いちにいさんし！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、ちょうせんじだいに、てい じゃくようという子どもがすんでいました。とてもりこうで、なんでもすぐにならいました。また、こうきしんがおおくて、あたらしいことをたくさんかんがえました。文字のべんきょうはもちろん、さんすうとかがくもとてもよくできたそうです。

いつのまにか月日がすぎて、てい じゃくようはこころの広い大人になりました。いつもべんきょうをいっしょうけんめいにしたおかげで、かきょしけんにもすぐに、ごうかくしました。

かしこい王、せいそは、そなたてい じゃくようをすぐに見いだしました。

“ほほ、てい じゃくようは、すべてのがくもんをよくできるのだな。わたしのよこで、国のしごとをてつだってくれないか。”

てい じゃくようは、さらにいっしょうけんめいにべんきょうして、文しょうをかきました。とくに、本だけを見てべんきょうするよりも、人びとのせいかつにやくだつべんきょうが、ほんとうのべんきょうだとおもいました。

そうしたある日、せいそにこまったことがおこりました。せいそは、おとうさんのしとうせいしのおはかをすいげん（水原）にうつしたのです。しかし、きゅうていとはなれていて、まいとしおはかにいきあいさつをするみちのりが、とてもながくたいへんでした。とくに、こんかいは、おかあさんのヘギョングン・ホンシのたんじょうびのために、とても大きなおいわいをするかんがえでした。おいわいがおわって、おかあさんといっしょにしんかたちをつ

口演 活動内容



お話を聞かせる

れて、おとうさんのおはかにいこうとしたのです。せいそは、たくさんの人びとがかんこうをわたることができる、かんたんで、はやいほうほう（方法）を見つけたかったのです。

“ふねでかんこうをわたれば、もっとはやくいけるだろうに。たくさんの人びととへいしたちをふねにはのせれないし、どうすればいいことか。”

せいそはなやんだあげく、てい じゃくようをよび、たずねました。

“じゃくよう、たくさんの人びとが、かんこうをかんたんにわたるほうほう（方法）はないだろうか？”

てい じゃくようは、しばらくかんがえこみました。そして、ひかえめにてい あんしました。

“ふねをつないで、はし（橋）をつくるのはどうですか？”

せいそはひざをポンとたたきました。

“それは、とてもいいかんがえだ！”

しかし、ほかの人びとたちは、てい じゃくようのはなしにはんたいしました。

“ふねをあたらしくつくるじかんがありません！”

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ふねがひっくりかえるとあぶないです!”

しかし、てい じゃくようは、かたくなにいいました。

“しんばいなさらないでください。みんながちからをあわせれば、じゅうぶんにできますよ。”

せいそは、さいしょの川のはばがてきせつで、すいせい（水勢）がつよくなればしょにきめました。そして、てい じゃくようにすぐさまふなばしをつくるようにいいました。

てい じゃくようは、ふなばしをどうつくるかをえがいてみました。人びとがえ（絵）を見てすぐにわかるように、くわしくないようをかきだしました。それから、はし（橋）をつくるときにひつようなふねもかりてきました。ふねはあたらしくつくらずに、ものをはこぶためのふねをあつめてきました。もちろん、ふねをかしてくれた人たちには、お金をわたしました。そして、みんなよりいっしょうけんめいに、ふなばしづくりをたすけました。

てい じゃくようは、あつめたふねをぼうでずらりとつなげました。そして、人とうまがわたれるように、まん中にまつのいたをおきました。その上にはしばまでひいて、ほんとうのみちのように見えるようにつくりました。てい じゃくようは、めしつかいといっしょにすごして、やすまずにしごとをつづけました。やがて、てい じゃくようがかいたえ（絵）のように、だんだんとふなばしが、かんせいされていきました。これを見ていた人びとは、みな、とてもふ

口演 活動内容



お話を聞かせる

しぎがりました。あぶないとはんたいしたしんかたちも、ほめたたえました。

“うあ、ほんとうにすばらしい!”

“どうやってこんなかんがえをしたんだろうか?”

ついに、すべてのどりよくのおかげで、ふなばしがかんせいされました。すてきでながいふなばしは、かんこうをわたしてつながりました。

“ほほほ。よくやった!すばらしい!”

せいそも、てい じょくようがつくったふなばしを見て、よろこびました。

そのあと、せいそのおかあさんのたんじょうびいわいが大きくひらかれました。おいわいがおわたったあと、せいそはしんかたちといっしょに、おかあさんをつれてしゅっぱつしました。おとうさんのしとうせいしのおはかがある、すいげん(スウォン) かじょう(ファソン) にですね。

“じゃあ、ふなばしをわたしてみよう!”

せいそは、しんかたちにいいました。もぞもぞしたしんかたちを見て、せいそがけらけらとわらい、いいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ふなばしでかんこうをわたれば、すぐにすいげん（スウォン）にいけるぞ。しんぱいするな。てい じゃくようはぜったいにものをてきとうにつくる人ではない。あんぜんだ。じゃあ、いこう!”

せいそがふなばしをわたりはじめると、うしろについて、へいしたちとしんかたちもふなばしをわたりはじめました。ものをのせたばしゃもついていきました。しっかりとしたふなばしは、みながわたりおえるまで、びくともしませんでした。

“いやあ。ぶじに川をわたったな!”

ぎょうれつをみまもった人たちが、はくしゅしてさけびました。

“じゃくよう、おまえがつくったふなばしのおかげで、かんたんにはやくとうちゃくすることができた。ありがとう。”

せいそが、てい じゃくようのをぎゅつとにぎっていいました。

ていじゃくようは、そのあともさまざまなはつめいひんをつくりました。また、たみたちのせいかつにたすけになる本もたくさん書きました。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？てい じやくようはハンガンにふなばしをつくりました。どうやってつくったのか、いってみましょうか？

そうですね。ふねとふねをつないで、はし(橋)をつくりました。‘ふね(ペ)’と ‘はし(タリ)’がくっついて‘ふなばし(ペタリ)’になりますね。このように二つのたんごをあわせて、あたらしいたんごをつくったりもします。‘田(ノン)’と ‘はたけ(パッ)’がくっついて、‘たばたけ(ノンパッ)’、‘本(チェッ)’と ‘かばん(カバン)’がくっついて、‘本かばん(チェッカバン)’になるようにですね。そしたら、‘はな(コッ)’と ‘木(ナム)’がくっつく、なにになりますか？はい。わたしたちがうえてそだえる‘かぼく(コンナム)’ですね。おともだちも、二つのたんごをあわせたことばをさがしてみてください。

みなさん、てい じやくようが、ハンガンにふなばしをつくったりゆうはなんですか？

はい、せいそ王(チョンジョ)がおねがいしました。まいとし、おとうさんのおはかがあるすいげん(スウォン)までいくみちがとてもとおく、おかあさんとおおくのしんかたちがハンガンをかんたんではやくわたれるようにするためでした。そのため、ふなばしはせいそのおやごごろとてい じやくよう(チョン・ヤギョン)のちえがこめられたはつめいひんです。てい じやくよう(チョン・ヤギョン)はふなばしいがいにも、さまざまなはつめいひんをつくりました。てい じやくよう(チョン・ヤギョン)のはつめいひんはすいげんかじょう(スウォンファソン)をつくるときに、大きなやくわりをしましたね。てい じやくよう(チョン・ヤギョン)のはつめいひんにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんといっしょに“かんこう(ハンガン)にふなばしをかけたていじゃくよう(チョン・ヤギョン)”のお話をいちどまとめてみましょうか？

ていじゃくよう(チョン・ヤギョン)は、おおくの人びとのたすけになるはつめいひんをつくったがくしゃでもありながら、むずかしい私たちのせいかつを見まもる、すばらしい人がらをもった人でした。みなさんもまわりを見ながら、こうきしんをもってください。すばらしいはつめいか、かがくしゃになれるとおばあちゃんはおもいます。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！